

## カリ長石の着色による識別法

石川直衛 (長崎西高)

既に御承知の方が多くと思いますが、カリ長石の着色法をお知らせ致します。この方法は、**American Mineralogist** Vol. 45, Sept. - Oct. 1960 に発表された **EDGAR H. BALLE** と **ROLLIN E. STEVENS** による "Selective staining of K-Feldspar and Plagioclase on rock slabs and thin sections" から引用して研究発表された(広大付高、恩藤知典先生)ものを実験してみてもかなり良い結果が得られたので、皆さんも1度試してみられるとおもしろいと思います。

- (1) 火成岩標本をフッ化水素酸(うすめないで使用)の中に約15秒間つける。
- (2) 次にコバルチ亜硝酸ナトリウムの飽和

溶液の中へ約15秒間つける。

- (3) とり出して水洗する。

以上の操作で、カリ長石の表面にさびがついたように黄色の沈で人物が付着します。上記の時間は長くしても着色に影響はありませんが、コバルチ亜硝酸ナトリウム溶液はあまり長くは使用できません。また、水洗を強くしても色はおちませんが、指先で強くこすったり、タワシでこすると落ちます。

なお、原著を読んでいないので全然不明ですが、斜長石の着色法も記載されているとの事です。ただ、薬品が高価だそうです。

また、フッ化水素酸、コバルチ亜硝酸ナトリウムは薬店でそれぞれ取り扱っており、フッ化水素酸は50g 450円 コバルチ亜硝酸ナトリウムは25g 250円程度です。

---

### 交換寄贈雑誌 (昭和39年12月~40年4月)

平地学同好会会報	第8号
地学教育	第55. 56. 57. 58号
熊本地学会誌	第15. 16. 17号
鹿児島県地学会誌	第24号
青森地学	第9. 10号

---

### 原稿募集

会誌内容を充実させるため、広く会員の方々の御投稿を希望します。

原稿はなるべく400字詰用紙を用い、必ず

横罫にして下さい。研究発表、教材研究、資料の執筆者には掲載誌を3部贈呈致します。